

原子力研究における輸出管理と 大学・研究機関が直面する課題について

2024年のG7気候・エネルギー・環境大臣会合では、気候変動への対応とエネルギー安全保障の確保に向け、原子力を利用又は支持する国において、革新的な原子力技術の研究開発と責任ある活用を進める重要性が確認されました。

こうした、原子力技術の開発と国際的な利用が進む中、核不拡散を確保しつつ、平和的な原子力協力を阻害しない、適切な輸出管理が一層重要となっています。原子力関連資機材・技術の輸出管理のための国際的な枠組みである「原子力供給国グループ（Nuclear Suppliers Group: NSG）」においても、産業界に加え、大学・研究機関との連携や対話、無形技術移転を含む輸出管理上の取組の重要性が認識されています。

本セミナーでは、大学における無形技術移転管理の実務などを取り上げ、研究者や輸出管理担当者が現場で直面する課題や実情について、関係者間の共通理解を深めます。その上で、研究活動の円滑な推進と核不拡散の両立に向け、原子力関連技術のより実効的な輸出管理の在り方を考えます。

2026
8.21 正
13:30-16:00
(13:00開場)

**対面
開催**

基調講演

鴨下 誠（外務省 軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課長）

申込方法

WEBフォームからお申し込みください。
<https://forms.cloud.microsoft/r/zAqim6wcqR>



開催場所

九州大学伊都キャンパス ジョナサン・KS・チョイ文化館
<https://cs.kyushu-u.ac.jp/secu-talk2019-access/>

お問合せ

九州大学 法務統括室
legal@qilo.kyushu-u.ac.jp

主催



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

共催



外務省
Ministry of Foreign Affairs of Japan